



# 武庫の宝

令和7年 6月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

## 《運動会ご観覧ありがとうございました！》

前日まで天候を心配しましたが、5月30日に運動会が無事実施することができました。保護者、地域の皆様には多数ご観覧いただき、本当にありがとうございました

運動会当日のあいさつでも申しました通り、前日には「雨はどうやら降りそうにない」と喜んでいたので当日の朝のどんより曇り空に残念な思いが湧いてくる…でも思い直した通り、児童会テーマでもある「心ひとつに ワクワクスマイル」、子どもたちのはじけるような笑顔に、心は快晴になった気分でした。



ご来賓の教育委員の方とお話をさせていただいて、改めて気づいたことがありました。私が昨年本校に着任し、練習で全校生が開会式をテント下に、閉会式は大玉送りをした直後の隊形のまま実施される景色に驚いたんですね。でも今年は、去年の経験があるのでそういうものだと思っている。そこを委員さんはとても感心されて「ユニバーサルデザインのひとつですね」とおっしゃったんです。「誰もが公平に使いやすく」「使い方が簡単で明確に理解できる」などユニバーサルデザインについての定義はいくつかあります。そんな中私は、当たり前を考える、常識を問うことの大切さを実感したのです。私が教師になったころは、開会式での入場行進は「当たり前」でした。そこに多くの時間をかけて練習をしていたのが今思えばそのようです。時代と共に様々な考え方の元、「子どもたちにとって」を第一義に学校は、教育はその都度その都度見直され、ブラッシュアップされてきたと思っています。運動会もそのひとつでしょう。

子どもたちにとってと考えた時、「体験」というキーワードも大切なひとつです。みんなで何かに「挑戦」する。そこには仲間がいる。仲間を見て感じ、学び、自分を問う…そんな体験ができるのも学校であり、運動会はその醍醐味を感じることができる大切な行事だと思います。そして、5.6年生の表現の最後に代表の子が言ったあいさつの中にもあった言葉、「ありのままに」もとても大切な言葉です。子どもたちが自身を認め、それぞれがそれぞれの精一杯で高めるようがんばってきた運動会は感動的でした。

教育委員さんの一言は、まさに価値発見でもあり、改めて運動会でのワクワクスマイルな子どもたちの姿を重ね合わせながら大切なことを気づかせていただきました。最後になりましたが、準備から片付け、今年も保護者、地域の皆様の姿にも感激いたしました。本当にありがとうございました。今後ともどうかよろしくお願いいたします。